

連載

その課題、

技術士が お答えします！

Vol.7 即戦力となるドライバーの短期育成

技術士(経営工学)

正井 慎悟

・現職:さんあいオフィスInc./CEO、
さんあい技術コンサルタント事務所/代表
・(公社)日本技術士会中国本部:
活用促進委員会委員長



技術士(経営工学/電気電子/総合技術監理)

益野 実

・現職:ミノル経営コンサルタント/代表
・(公社)日本技術士会中国本部:
活用促進委員会副委員長



■質問/課題/お悩み等

従業員50名の中小運送業です。新しく入社したドライバーに対し、安全運転や運行管理の教育を行っていますが、十分な研修期間を確保するのが難しい状況です。限られた時間の中で、即戦力となる人材を育成するための効果的な教育方法はありますか？

■お答え/意見/アドバイス

まずはじめに、本日の回答者、国家資格・技術士(経営工学部門)を少し紹介させていただきます。1951年に生産管理工学部門としてスタート(代表的な技術にIEやVE、有名な実用技術にトヨタ生産方式「Just In Time (JIT)」など)、1983年に経営工学部門と名称変更し、科目構成に「包装及び物流」が加わり、2004年その部分は「ロジスティクス」となり、現在は「生産・物流・サービスのマネジメント」と、技術士の中でも唯一「物流マネジメント」が含まれた部門です。

さて、ご質問の教育方法についてお答えします。

限られた時間と人材リソースの中でも即戦力となるドライバーを短期育成するには、以下のような「ポイントを絞った段階的育成」と「現場直結型の教育」を組み合わせた方法が有効です。

【実践的な即戦力育成の重点ポイント】

□目標の設定

3週間で実用レベルに到達する即戦力育成プラン(例)▶

□教育内容の工夫

① 動画+クイズ形式のeラーニング

- ・運行管理、安全教育、点呼・日報記入、
飲酒チェッカーの使い方など
- ・繰り返し視聴でき、限られた時間でも学習可能
- ・自社スマートフォンやタブレットで実施(講師がいなくても可)

② 広島で有名なOJT・人材育成ハウツー

「やってみせて、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」/山本五十六(元・連合艦隊司令長官、没年1943年)

人材育成における指導の4段階を示した言葉です。現代でも十分通用する考え方です。呉の大和ミュージアム・ショップで格言グッズも売っています。

③ 運転診断・運転スキルを専用のソフトウェアで計測、可視化、共有化

- ・車両管理システムや専用のスマートフォンアプリで運転状況を計測、可視化
- ・運転状況を振り返ることで、不安全な行動や運転のワセに気づかせ、行動を改善など

④ 乗車前後の安全教育など

運転中の安全・スキル教育だけでなく、乗車前後の安全教育も重要な指導内容です。事故や怪我につながるリスクについて教育します。

- ・日々の体調管理、車内の整理整頓(座席付近の不要物撤去、書類やスマートフォンなどの置き方等)
- ・積荷の昇降時の安全対策(昇降具の利用、安全帽着用、作業体勢など)

期間	目的	主要内容
1週目	基礎・安全教育 +同乗研修	・座学(3日間):法令、社内ルール、安全、点呼、 運行管理、車両点検 ・実車同乗(2日間):現場感覚とマナーを学ぶ
2週目	単独運行準備	・ルートごとに何時でも再確認できる方法でデジタルを 活用した注意点の共有(例:LINE WORKS活用など) ・模擬点呼と日報記入演習 ・運転スキルチェック(実技試験)
3週目	限定ルートでの 単独運行	・先輩ドライバーが後方支援しつつ短距離運行 ・ミス記録と振り返り ・必要に応じて補習

いつ	教える側の行動	教わる側の行動
初日~3日目	やってみせて、言って聞かせて (説明+実演)	見る・聴く・(覚える)メモをする
4~5日目	させてみて(一部でも)	実際にやってみる (点呼、報連相、地図確認)
翌週	褒める(評価)	フィードバックを受ける

⑤評価とリスク管理

- ・教育終了時に簡単な「筆記+実技確認」で理解度と安全度を評価
- ・単独運行解禁は「教育係・責任者・支援チームの総意承認制」とする

□成功のカギは「社内体制づくり」

教育は継続が大切、継続には体制づくりから。1人だと属人的になってしまっ、成否や持続が難しくなります。ミニマム型では、3人から新人ドライバーの教育体制がつけられます。初めての、最初は少し手間が掛かりますが、新規雇用は常時の業務ではないので、形をつくりあげること集中して臨むことが成功のカギになります。

担当	役割
①指導ドライバー	新人1人に対し基本1人(教育係・メンター制) 短期集中で教えるなら 負担が少ないベテランが理想
②教育責任者(職長・班長)	進捗確認・チェックリスト管理
③管理・支援(総務)	eラーニング提供・ 事故対応訓練の調整

(ミニマム型・3人体制例)

即戦力となる人材を短期間で育成することの相談でしたが、なぜ短期育成が必要なのか?同時に課題の背景(事業環境の変化)を捉えておく必要があります。

- ① 労働力不足問題。新たなドライバーの採用難への対応
 - ② 時間外労働時間(働き方改革)、法律や規制強化への対応
 - ③ 物流量の増加や配送頻度・時間帯等の多様化する顧客ニーズへの対応
- など事業環境の変化があるのではないのでしょうか。

事業環境の変化などは、外部要因としても影響を受けやすいので、中長期的な視点で取り組むことが経営上重要です。労働力不足対策、物流業務の効率化や働き方改革にも目を向けてアドバイスさせていただきます。

□物流の生産性向上と効率化

労働力不足の解消策として、現有の従業員数でも新たな事業環境変化に業務が対応できるように、物流業務自体の効率化や改善を進めます。

ご存じのように、新物流効率化法(令和7年4月1日施行)により荷主と物流事業者の双方に物流効率化のために取り組むべき措置について努力義務が課せられることになりました。積載効率の向上等が運送事業者の努力義務、その他は荷主の努力義務ですが、双方が連携して取り組むことが求められています。これから共同改善が期待できる部分です。

取り組むべき措置	対策例	対策内容の例
積載効率の向上等	共同配送・輸送網集約	積載率の低い輸送網を集約し、他社と共同して輸送することにより、コスト削減
荷待ち時間の短縮	適切な受取・引渡日時の指定	予約システム導入により、予定や待ち状態を見える化 待ち時間の増加要因となる荷役等作業の改善推進
荷役等時間の短縮	荷積み時間の削減	バラ積みから平パレットやロールボックスパレット(カゴ台車)への標準化により、フォークリフトによる荷積み時間削減
	検品作業の効率化	ハンディーターミナルやスマホアプリを利用した荷札の自動読み取りにより、作業時間削減や作業ミス防止
	待ち時間の短縮	車体と荷台を簡単に分離できるスワップボディコンテナ車両に事前に荷積み作業をしておくことで、車両到着後の待ち時間を削減

□「ホワイト物流」の推進

<働き方改革—女性や60歳以上の運転者等も働きやすい労働環境の実現>

女性や高齢者でも安心して働ける職場環境になっていますでしょうか。多様な年齢層、性別、経験の有無などにも対応した働きやすい職場環境を整えることで、人材採用のしやすさや採用後の定着率の改善につながります。

実際に、製造業では労働力不足の解決策として、小規模な町工場から中堅事業者まで多くの事業所で取り組みが進められています。物流業でも「既に取り組んでいるよ」という声が聞こえてきそうですが、実は、製造業に比べてまだまだ遅れています。明日からでも改善に着手されることをお勧めします。

また、国土交通省の「働きやすい職場認証制度」の認証取得により、求人活動でのインセンティブ(優遇)も受けられます。

例えば、次のような女性や高齢者のドライバーでも働きやすい職場環境を整えることも検討します。

対策項目	対策例
トラック	バンタイプの普通車や軽自動車など運転や荷積みしやすい車両
荷物	取り扱いやすい小型、軽量の荷物の運送に従事
勤務時間	日中のみ等、生活と両立できる時間帯や短時間の勤務
勤務場所	配送拠点の近隣のみ等、短距離・短時間の運転
休憩場所	休憩室、更衣室、トイレ(化粧室)等の整備・充実

特に、昔ながらの職場や施設の場合、「休憩室、更衣室、トイレ(化粧室)」の「3室」の整備やジェンダーへの配慮が欠けている現場をまだまだ目にします。こうした職場には、いくら求人募集をしても応募されない、長続きしないなどの隠れた要因になります。まず、自社の作業環境なども見直し、人を集める工夫から一緒に考えてみましょう。

今回取り上げた「人材育成」をはじめ、「物流の生産性向上と効率化」や「働き方改革」は、政府としても推進されており、多くの実施事例や補助金制度などがあります。自社の業務実態に合わせた改善の取り組みなどの支援が必要な場合、人材育成に加えて物流現場改善にも精通したお近くの技術士までご相談ください。貴社の業務内容に応じた労働力不足対策や物流現場改善なども一緒に考えさせていただきます。

□参考リンク

法令で新しく入社したドライバーに対して、乗務する前に「初任診断」と「初任運転者講習」を受けさせなければなりません。中小運送業の新人ドライバーの短期育成に活かせるものを紹介します。

1. グッドラーニング! (国交省指導監督12項目対応)
2. 法定12項目動画配信/De-learning
動画+理解度テスト+教材概要+管理機能が充実
3. eDriver
eラーニングで提供。多言語対応で外国人ドライバーにも有効
4. 国土交通省/自動車総合安全情報/事業用自動車の安全対策
5. (公社)全日本トラック協会から交通安全対策推進に係る啓発資料
6. yuriCargo
運転中の操作は必要なく、ゲーム感覚で安全運転の維持向上



■「質問/課題/お悩み等」の募集について

急激な社会変化に対応するため、組合や企業に対して、より適切な支援を実施できるよう、広島県中央会では日本技術士会中国本部と連携し、支援体制を強化していきます。自社で解決が難しい技術的課題がある場合は、**連携支援部(TEL 082-228-0926)**にご相談ください。(相談内容によっては対応が難しい場合があります。また、相談内容を一部概要として紙面に掲載させていただく場合があります。)